

⑧ 篠木地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	たきざわ広報、大変充実していて素晴らしい。一方で、岩手日報で滝沢のニュースが少ない。些細なことでも発信してほしい。大学のこと、高校のことなども発信してほしい。	様々情報提供をし、発表もしている。食べ物、イベント、若い世代のスポーツなど掲載されている。今後も続けていきながら仕掛けを考えていきたい。	企画政策課	様々工夫をしながら広報を発行し、情報提供をさせていただいております。今後においても工夫を重ね、情報提供をしてまいります。岩手日報にも様々情報提供をしており、今後も続けてまいります。	
2	盛岡シティマラソンが10月に行われる。約1万人の参加、フルマラソン7,500人の参加が見込まれている。県外の方が6割、宿泊の方が5割と言われている。盛岡市、雫石町、八幡平市などに宿泊すると思われる。県内14市でマラソンを未実施なのは、滝沢市と陸前高田市のみである。事務局を市が引き受けてもらえれば陸上競技協会でもノウハウを持っている。雫石では参加料をとり400万円集まり、その他は市が負担した。市として実施可能か不可か判断いただきたい。	マラソンに限らず他から人を呼び込むことなど様々なことをやっていきたい。5月にはチャレンジデーを開催した。種目は何にするか別として非常に良いご提言として検討していきたい。	生涯学習スポーツ課	健康づくりや、にぎわい創出、経済波及などの観点からスポーツイベントの開催は、重要な事項と考えております。「マラソン開催」については現時点に於いて計画等はありませんが、他のイベントも含めた実施に向けて、財源の確保等も念頭に、他自治体の実施状況など情報に注視してまいります。	
3	11市内行政区というのは表現は馴染まないと思う。ゴミ減量化について、ストックヤードとか、子供会や老人クラブ等で資源回収しリサイクル業者に渡すが、市から補助金をもらっている場合はゴミとしてカウントされる。ストックヤード2箇所あり業者へお願いしているが、登録している業者はゴミちゃんセンターで計測しそれに応じた補助金を受けるためにゴミちゃんセンターへ持って行くのでゴミとしてカウントされている。業者は補助金を受けるため登録しているのでゴミは減らない。これを如何にゴミちゃんセンターに搬入しないかで、滝沢のゴミは減る。	業者が清掃センターに回さない方法、いわゆる資源化を進めたいということである。資源化するものと焼却または溶かす処理、資源化しながら排出抑制していく。その量を減らしたい。提携しているスーパーに回収いただくなど全体としての排出抑制をしていきたいという考えになります。補助金の関係調べる。補助金を貰っている業者（奨励金）を調べ検討したい。	環境課	集団資源回収活動の奨励金として、1団体の年間奨励金額の上限を5万円としています。また、奨励金対象外の資源回収活動でリサイクルされた資源物はごみの総量には含まれません。市では、ごみ減量化・資源化を進めていくため、生ごみ減量等によるごみの発生抑制（リデュース）のほか、再使用（リユース）、スーパーでの店頭回収・小型家電回収・集団資源回収（リサイクル）等に取り組んでいただけるよう周知活動を継続してまいります。	
4	建設関連業をしているが、地産地消ということで、県や盛岡市であれば県内や市内業者にランク付けし、事業税等を納めている地元企業へ発注するシステムを行っている。滝沢市として、後継企業を育てたり、事業を発展させるために、生産性をあげ地元企業へ発注する等どのように考えているか。	指名競争入札ということで出来る限り地元企業に受注いただくように努めている。今後ともそのように行うよう考えていきたい。	財務課	滝沢市でも、他市町村同様に、指名競争入札の実施にあたり、地元への優先発注に努めているところです。ただし、実施する工事の種類、規模の大きさから、相応の履行能力を求めなければならない場合もあり、全ての案件に対して、市内事業者への指名を行うことができないところです。	
5	耕作放棄地化、深刻な課題である。稼いでいる方は60～80歳である。水田という農地を維持できるのかという喫緊の課題がある。関連して、農業委員会では毎年アンケートを実施している。後継者いますか、農地をどうしますか、そういったアンケートをどう活かすのか、結果を積み上げているか。	皆様農業で努力している。見合ったお金の繋がっていない。コスト削減、農地集約、一生懸命働くが収入に繋がらない。日本の国土には背骨がある。外国の農産物を比べると儲からない。コストと売値とのギャップをどう埋めるか。日本全体の問題でもある。農業委員会の件、結果について自治会長を通じてお知らせしたい。	農業委員会事務局 農林課	農業委員会では、農地を貸したい（売りたい）、借りたい（買いたい）というアンケートの回答結果を農地の集積活動に活用しています。また、回答して頂いたデータは、農地の集積、遊休農地の解消、新規参入などの農地の最適化へ向けた地域の話し合いや農地集積等の活動に活用しています。農林課では、人・農地プランの見直しにより、農地の集約化を推進しています。農林課では5年に1度、農振計画の見直しで実施しており、直近ではH29年度に実施しています。	
6	中心市街地ではなく、施設の集積ではないか。中心市街地は本当に必要なのか。新しい市街地では購買力が集まる。既存商店等に影響がある。よって、既存商店街を活性化の方が大事ではないか。施設集積により利便性を図り、コンパクトシティを形成した方が良いと思う。	中心市街地、市としてシンボリックな、にぎわいや魅力、人が集まる場所を想定しております。	都市政策課	第1次滝沢市総合計画において、滝沢市役所周辺を対象に、「都市の中心を担う拠点の形成」を目指す構想が位置付けられております。コンパクトシティの形成については、地理的状況や生活圏の実態等を鑑みて検討してまいります。	
7	観光について、滞留型ではない。お客様をどう留めるか。宿泊施設がない。空家も活用できないか。民間活用によりホームステイのようにする。そして留める。（ここでは回答不要）	-	観光物産課	ご提言のありました件について、滝沢市観光協会や滝沢市商工会等関係機関と連携を図りながら、今後も検討してまいります。	

8	健康づくり政策課の職員と長野を視察したようであるが、健康づくり推進協議会に出席した際に、健康づくり政策課では課長ではなく担当者のみの出席であった。視察をし学んだ以上、姿勢として出席すべきではないか。全庁的にポイントとして出て欲しいこともある。（ここでは回答不要）	—	健康づくり政策課	7月17日開催の協議会には健康づくり政策課から課長が出席いたしました。今後、具体的に取り組みの説明できる状況となった際には、様々な場で情報提供させていただきたいと考えております。
9	保険年金課から、国の政策により国民の医療費を抑制するのはわかるが、鍼灸や整骨院の正しい受け方という文書が送られてきたが、自分の身体を治すときに自分の選択ではないか。柔道整復師により筋トレ指導を受けたりしている。農作業で痛めた体を回復し、サロンとしても非常に良い環境であった。（ここでは回答不要）	—	保険年金課	鍼灸や整骨院の受診内容を見ると、治療を目的とした受診ではなく、単なる疲労回復や慰安を目的とした受診と疑われる案件が多く見受けられることから、正しい受け方について広くご案内をしたものです。 よって、治療を目的とした施術を抑制するものではありません。
10	全国的に高齢者の事故が多発し問題となっている。免許返納に関して、市として特典や考えがあるか。	高齢者の交通事故については、注意喚起が一番である。何回も注意喚起を励行する。返納について現在は議論していない。 特典に関して、警察が主体的に店と提携するなど推進しているようであり、盛岡西警察署長が今度市長へ説明に来る予定である。各地区にも広めたいので情報が入り次第、広報やホームページ等で周知を図りたい。警察も対応しているが、市は市なりに制度を検討いただきたい。 ドア to ドア、そのようなことを検討していきたい。	防災防犯課	運転免許証の返納に関しては、高齢者をはじめとした免許証の返納ということと、返納後の交通手段の確保という観点から、非常に大きな社会問題でもあります。よって、公共交通や福祉バスなどの移動手段も含め、全体的な視点から様々な検討していきます。
11	自治会で困っていることがある。ゴミの減量化を推進するためストックヤードを設置しようとする、建築確認申請が必要となり、見積りでは建築確認申請10万円かかる。市で補助金を増額するか、建築確認申請費を補助するか、検討いただきたい。自治会連合会としても各自自治会で何基必要か調査している。	建築確認について確認したい。やり方として、ゴミの集積日以外をストックヤードとして活用している地域もある。実態を含め研究していきたい。	環境課 地域づくり推進課	建築確認費用に伴う設置費用の増額につきましては把握しておりますが、建築確認が不要な箇所に設置できている自治会や該当にならない物置もあることから今後の検討課題とさせていただきます。
12	財源確保が重要であり、専門的部門を設け歳入獲得に向けた検討をいただきたい。ふるさと納税について日報に掲載になったが、矢巾は10億円である。何かが足りないのではないか。全庁的取り組みが必要である。盛岡6千万円、矢巾町全体で動いている結果もある。滝沢もPR不足である。	国県制度を把握し、幹部に役割を担わせ、各種制度を見極めさせたい。県議からも国土強靱化地域計画を策定することで財源を得るという話もあった。ふるさと納税については調査研究を重ねたい。恒常的に税金をいただける環境を望んでいる。 ふるさと納税は過剰となり、地場産品を扱わなかったり、制度として除外される自治体も出ている。今年から制度も変わり、市もポータルサイトを利用するなど今後も検討を重ねたい。	財務課	ふるさと納税ポータルサイトの増設やPR方法の強化、さらには、魅力ある返礼品の発掘など、関係部署と連携を図りながら、ふるさと納税による寄附を維持、増加できるようにしていきたいと考えています。
13	国保において、支払できないために短期受給者証を発行しているのでしょうか。滝沢は70人、盛岡市は5人と聞いた。短期受給者証のシステムは詳しくわからないが、貧困そして子どもの健やかな成長のために保障する滝沢であって欲しいと思う。	原則、国保では無い人から取るのではない。納税できる人から頂戴している。問題であれば個別相談、自治会長を通じ回答したい。	保険年金課	滝沢市国保では、通常は有効期間が1年間の保険証を交付しています。 しかし、前年度以前の国保税に未納がある世帯には、法令により、各世帯の状況に応じて有効期間が1年未満の短期保険証を交付することとされています。 よって、滝沢市国保ではこの法令に基づき短期保険証を交付しているものです。 なお、短期保険証は、文字通り有効期間が短いだけで、通常の保険証と同じように医療機関でお使いいただくことができます。 短期保険証の交付件数は、今年の2月1日現在では、滝沢市は144世帯で、一関市や奥州市は600世帯以上となっております。 国保税の納付が難しい場合には、黙って放っておくことなく、必ず収納課で納税相談を行うようお願いいたします。

⑨ 滝沢ニュータウン自治会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	交通標識などについて警察と協議いただき、市が対応して下さったことに感謝している。	—	防災防犯課	鵜飼保育園付近において、一時停止の標識、カーブミラーの新設、道路標示の新設などを予定しておりますが、市と公安委員会の施行時期が異なるため、一度に全ての設置とならないことをご了承ください。ニュータウン自治会内を走行する際の安全運転の呼び掛けについて、今後ともお願いします。	
2	健康について、必ず減塩となる。塩で血圧が上がるといよりも体質や遺伝の方が大きい。よって血圧が上がらない人もいる。昔から漬物で乳酸菌も摂取していたが、減塩のために漬物も食わず乳酸菌も摂取しないからバテる。血圧下げたかったら体重落とせば良いのではないか。	健康づくりとしての減塩について、原因は様々あるが、減塩についても原因の一つであるので取り組んでいきたい。長野も塩分取り過ぎではあるが、適塩に取り組んでいる。	健康推進課	市の健康課題である脳血管疾患の予防のためには、高血圧予防が重要です。減塩と併せてカリウムの含まれる果物や野菜の摂取や運動の継続、肥満の解消など高血圧予防の生活習慣について、健康教室等機会を捉えて啓発を行ってまいります。	
3	高校へ通うのに公共交通で行くことが出来ない。ぜひ公共交通にて北高や市立高校に通えるようにしてほしい。 岩手山登山など観光地へ公共交通で行けるようにしてほしい。車であればその場所に行くだけで終わり、直線の移動だけとなる。公共交通を利用することで他の場所に行くことができ滞在することもできる。	公共交通機関について、滝沢市は横の交通が弱い。そのために、まずは人の流れを作る必要がある。バス会社としても人の乗らないところに路線は作らない。	観光物産課 都市政策課	以前、岩手山登山者のために路線バスが運行されていましたが、利用者が少なく赤字路線のため廃止となりました。バスの運行は、採算性が必要でありバス会社の経営判断に委ねられます。近年、バス会社の運転士不足も深刻となっており、新規路線の設定は難しいことが見込まれます。現在、既存路線の維持確保のため利用促進に取り組んでおります。	
4	公園の草刈をするが、相当な草（ゴミ）が発生する。コンポストの設置等検討いただきたい。	草刈の草については、乾燥して出して欲しい。農家等における草等は燃やしているが、公園にあつてはそれが適用されるかどうかは持ち帰って検討する。	環境課	地域清掃活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。草刈による草は、総重量を減らすため、乾燥させてから出していただくようご協力をよろしくお願いします。 また、原則野焼きは禁止されており、公園の草刈についても野焼きはできません。 このほか、コンポストの活用等については、今後検討してまいります。	
5	消防団員増加の策を市として検討、協力いただきたい。	ご指摘のとおり、消防団員の充足率が低い状況であるので消防団員確保の策について検討していく。	防災防犯課	地域のお祭り等において、防火活動等のため消防団に出動要請があった際、団員勧誘活動を行っております。また、大学祭の一角をお借りして、大学生をターゲットにした勧誘活動を実施しており、一定の成果に結びついております。この他、消防団員が各種サービスを受けられる「消防団員応援の店」を増やす働きかけを行っていき、消防団の待遇の向上を図り、団員確保に努めたいと思います。	
6	総合公園体育館のトレーニング室をよく利用しているが、使えない器具がある。調整中と表示されたり、その後に無くなったりしている。4台位無くなっている。古い器具で修繕のための部品が無いとのことだが、健康づくりの観点からも器具の更新を進めて欲しい。	平成2年に総合公園体育館ができ、器具についても古くなって更新をしているが、年数により老朽化が進んでいる。予算の中で更新についても続けていきたい。	生涯学習スポーツ課	総合公園体育館のトレーニング室については利用されている方も多く、できるだけ整備された状態で提供させて頂く必要があるものと考えております。現状では予算の範囲で更新等を行っていますが、今後につきましても充当可能な補助金等の情報も視野に入れながら対応する必要があるものと考えております。	

7	<p>公共施設は禁煙としたとのことであるが、この中には喫煙者が2人いるが、タバコ税はどの程度市に入っているのか。この交付税の扱いはどうなっているのか。</p> <p>以前のように喫煙できる場所が少なくなっている一方で、タバコを購入する行為は市の財源に貢献していると思う。喫煙者への還元があってもいいのではないかと。</p>	<p>世界的にも喫煙は身体に良くないとされている。タバコ税は3億円で推移していた。税率の見直しにより一部、電子タバコも歳入として付加されていて、現在では、3億円を欠ける程度の歳入となっている。目的としての税ではなく一般税と同様に国から交付されるものと市に歳入されるものがある。その中で各事業に振り分けているため、タバコ税が直接何に使用されているのではなく、交付税などの様々な歳入の1つとして有効に活用しているのが実態である。</p> <p>他地域の市政懇談会の中で、禁煙を打ち出すならば、国からタバコ税を一切受けないという方法があるのではないかとという意見があったが、タバコ税は有効な財源である。市役所内の建物、事業所は禁煙化されたがビッググループやコミュニティセンターでは禁煙とはしていないため、分煙という状況の中で喫煙をしていただきたい。喫煙者と吸わない方のそれぞれの考え方があつたためバランスよく対応していきたい。</p>	財務課	<p>平成30年度のたばこ税の収入は約3億1千万円であり、貴重な財源となっています。たばこ税は住民税や固定資産税と同じいわゆる「普通税」であり、その使い道が決められていませんので、どの事業に活用されているかは特定できない形になっています。</p> <p>喫煙できる場所が減っていること、たばこを購入する行為が市の財政に貢献していることはそのとおりですが、たばこ税は用途を特定しない普通税でありますことから、喫煙する方への還元ということではなく、市民の皆さんに行政サービスを提供する財源とさせていただいています。たばこを購入する際にはできるだけ市内で買っていただきたいと思いますが、健康のため吸い過ぎには十分注意していただくようお願いいたします。</p>	
8	<p>市民が主役であるを推進するにあたり、市政懇談会で市民の声を聞くために市民の中に入る必要があるのではないかと。一例として、ふるさと交流館に未だに村の立看板（地域づくり推進課）がある。時々、気が付いたことを担当課に連絡をしているが、地域づくりに対する市民の意見を載せる広報の欄があってもいいのではないかと。壊れかかった掲示板や村の掲示板があり違和感をもっている。</p> <p>前の市長は「住民自治日本一」を目指すとして盛んに述べていたが、市民の声をどのように聴くのか。</p>	<p>市民の声を聞く手段として様々ある。電話等での市政へのご提言であれば、ほとんどは私のところに報告されている。村の立看板については、岩手日報に掲載されたこともあり、できるだけ早く対応すべきだと考えている。一方で、経緯を調べたり経費について考えたりする必要があるため、現時点では未着手となっているが、対応していく。本来の間接民主主義のように、選挙で選ばれた議員と行政とで方向性を決めるだけではなく、できる限り住民から直接意見を聞き、政策に反映させたいと思う。会合や電話の他にFAXやメールを通じて多くの意見が届いている。広報に市民の声を載せるべきという意見については、市民からの了解を得られたものについてはホームページにて公表している。市の政策についての市民の意見に対して、常に耳を傾ける必要があると考えている。</p>	地域づくり推進課 企画政策課	<p>「村」が残っている立看板や掲示板については、存廃や修正内容について自治会等と協議しながら今後検討してまいりたいと考えております。</p> <p>市民の皆様の声については、様々な形で頂戴しています。一つ一つの声について市政に反映できるよう引き続き取り組んでまいります。</p>	
9	<p>空き家や道路に出ていた樹木について対応していただいたことに御礼をしたい。</p>	-	都市政策課	<p>御協力いただき、ありがとうございます。今後とも所有者に対し、空き家を適正に管理していただけるよう、促してまいります。</p>	
10	<p>岩手日報の記事によると、滝沢市のふるさと納税は約2,000万円だった。もっと工夫して魅力ある納税をいただけるようできないものか。</p>	<p>ふるさと納税は岩手県内では矢巾町が最も多く、滝沢市としても有効活用していきたい。現在約2,000万円のふるさと納税を着実に伸ばしていく方法をとっていきたい。</p> <p>ふるさと納税については、平成27年の7,000万円をピークに、平成30年は3,000万弱となっている。今後は、ポータルサイトやPRの方法を強化すること、魅力ある商品の発掘をするなど、返礼品についても再考して、ふるさと納税額を維持、増加できるようにしていきたい。</p>	財務課	<p>ふるさと納税ポータルサイトの増設やPR方法の強化、さらには、魅力ある返礼品の発掘など、関係部署と連携を図りながら、ふるさと納税による寄附を維持、増加できるようにしていきたいと考えています。</p>	
11	<p>2年程前の台風で公園の街灯が倒壊したため、現在では街灯・スピーカーがなく不便に感じる。公園が避難場所でもあり、子供の非行上の観点、避難時の高齢者対応の観点からも、街灯・スピーカーの設置を検討していただきたい。</p> <p>一度あったものが無くなると、住民からすると不便に感じるため復活を願っている。</p>	<p>台風により街灯・スピーカーが倒壊した件については、現地を確認してから判断する。</p> <p>公園の街灯については、写真での確認は行ったところ、周囲に街灯があり、また予算の関係から現状のところ、街灯の設置には至っていないが、現場を再度確認して検討していきたい。</p>	都市政策課	<p>平成30年3月に1工区公園の公園街灯が強風により倒れたため、撤去しております。NTが開発された当時に、開発業者により設置された街灯になりますが、現在では、同規模の街灯を設置することは、規格・構造上、難しいものとなっております。公園街灯の要望について、市では把握しておりますので、現在、国へ補助金等の要望を検討しているところです。なお、倒壊した街灯のスピーカー、もしくは公園としてのスピーカー装置は当初よりないことから、自治会で設置されたものかと思っております。</p>	

12	<p>チャグチャグ馬コの運営主体は滝沢市なのか盛岡市なのか。馬コ大行進の滝沢市の滞留時間を少し長くしたり、ゴールを滝沢市にしたりしてチャグチャグ馬コは滝沢市のまつりであるとアピールすべきではないか。</p>	<p>チャグチャグ馬コの実行委員会は、盛岡市長が会長、滝沢市長・矢巾町長が副会長で組織されている。今年は70数頭が出ており、滝沢市が最も多い。農耕馬であるため、飼主に今後も飼ってもらうための対応を優先して行う必要がある。首都圏方面からの寄付を募って、餌代に充てたり、チャグチャグ馬コオーナー制度を組織して、オーナーに一部費用を負担してもらったりするという意見もある。私の考えとしては、現状のように1年に1回だけではなく、大釜駅から神社まで、小岩井駅から小岩井農場まで、滝沢駅から馬コパークまで馬車を走らせるなどの観光振興のためになるような対応策を考えている。</p>	観光物産課	<p>チャグチャグ馬コの行進行事については、盛岡市、滝沢市、矢巾町が中心となって組織している「チャグチャグ馬コ保存会」で運営をしております。この行進行事については、昭和5年から始まり、現在まで滝沢市から盛岡市へ練り歩く行事となっております。そのため、行進方向を変更することは観光客に対して混乱を招く形となります。</p> <p>しかし、チャグチャグ馬コ出馬頭数は滝沢市が多く、また、各種イベントに年間30回ほど市のPRを兼ねて出演しておりますので、「チャグチャグ馬コ＝滝沢市」は報道関係も含めて浸透し始めております。</p>
13	<p>先に話題となった村の看板の件について、私は残してもいいのではないかと思います。村の看板の更新に費用をかけるのであれば他の用途に使ってほしい。</p>	—	(回答不要)	—
14	<p>独居老人や要介護者の情報の扱いが不明確でうまく活用できていないため、運用できるようにしてほしい。</p> <p>明確な線引きをはっきりさせてほしい。ご本人の理解を得ている場合は、班長まで情報提供していいのか。</p>	<p>助けを必要としている高齢者をすべて把握することは大きな災害の発生時に住民の力を活用して人的被害をゼロにする考え方によるもので必要である。一方で、守秘義務の観点から公表しているのは、ご本人からの理解を得た情報に限定している。篠木老人クラブでは、情報を把握していて、催しが開催されるごとに必ず電話をして、地域住民で安否確認をするシステムを行っている。つまり、公的なものと老人クラブのような実質的なもの組み合わせるなど知恵を考えて対応をしていく方法を考えている。</p> <p>避難行動要支援者台帳には要件があり、独居もしくは障がいや要介護認定を受けた方々に対して、台帳に登録していただいて、避難の際に有効な手段として用いることを目的としている。台帳に際に登録する際にご本人からの理解を得て、自治会長、警察、消防、消防団、自主防災組織に配布して、災害発生時に活用するようにしている。よって、班長への情報提供は自治会長の判断に任せることにしている。</p>	地域福祉課	<p>避難行動要支援者台帳登録者は、災害が発生したときに自分やご家族等の力では避難ができない方の安否確認や避難支援を円滑に行えるよう地域の中での支援体制を整えることを目的としています。</p> <p>名簿提供については、ご本人からの了承を得たうえで行っており、名簿の活用は提供先に任せています。災害発生時に安否確認、避難支援をしていただくには、自治会役員だけではなく、日頃から要援護者を支援していただくための体制が必要であり、班長までの情報提供は自治会組織として対応する場合は必要と判断されます。どこまで情報提供するかは自治会長の判断となりますが、個人情報外部に漏れないよう、取扱いに際してはご留意願います。</p>
15	<p>滝沢市の中心市街地を民間の力を借りながら形成するとあるが、どこの地域を検討しているか。</p>	ビッグルーフ周辺を検討している。	都市政策課	ビッグルーフ滝沢と滝沢ニュータウンの間の地域を検討しております。
16	<p>NTからビッグルーフまでの一本の道路が欲しい。一本の道路ができれば、ビッグルーフを使って祭りやイベントが行えたり、消防演習などでも分列行進などパレードができたり、雫石の軽トラ市を参考にしたイベントの実施など環境道路として有効活用できるのではないか。道路ができれば、滝沢市内の各地域のまつりを一気に行うことで滝沢市の大きなまつりの実施につながるのではないか。</p>	<p>中心市街地については、開発者と協議をしている段階で、JA支所交差点からビッグルーフへの道路についても計画の中に入っている。先日説明会を行った中で、市立高校から盛岡環状線まで抜ける道路を今年度測量し、その後に改良舗装を行う。ビッグルーフを建設する際に、滝沢ニュータウンも一体となって市街地を形成するというところで、その時の市民の皆様のアンケートから、商業施設、運動施設、健康関係といった要望があり、まずはビッグルーフを建設し、そして次の段階へと進んでいるところである。</p>	道路課 都市政策課	<p>幹線道路としての機能と良好な市街地形成が促進されるよう、今年度県道盛岡環状線から県道盛岡滝沢線年毛交差点までの市道向新田線800mについて道路詳細設計を行っています。</p> <p>JA支所交差点からビッグルーフ滝沢への道路については、中心拠点形成に係る開発者との協議の中で整備する計画で協議しております。</p>
17	<p>小さい子が遊ぶ施設は、矢巾町や紫波町や奥中山のこどもの森などがあり、滝沢市内にも総合公園などがあるが、遊具壊れている。滝沢市内にもこどもの森のような施設は作らないのか、作らないにしても滝沢市の子供たちが遊べるために、小岩井パスポートを無料にするなど検討いただきたい。</p>	<p>平成29年度に遊具等更新に係る長期事業計画を作ったところであり、国の補助を受けるため計画を策定したところである。ロックガーデンの橋、アスレチックの遊具であったり、計画的に更新してまいりたい。特にロックガーデンの橋が仮措置状況であり危ないということで、来年度着手できればと思っている。計画的に遊具の更新をしてまいりたい。</p>	都市政策課	<p>滝沢総合公園の使用禁止にしている遊具について、令和2年度から、国交付金事業により、順次、更新していく予定です。更新する中で、遊具の再編をしながら更新をしていくよう検討してまいります。「こどもの森」や雫石町の「のりもの広場」などは、県の施設であり、規模が大きなものとなっております。同規模の公園を市が単独で整備することは、現在ありません。また、小岩井農場のパスポート無料については、民間企業への助成対策であることから、助成について行う予定はありません。</p>
18	<p>県大と滝沢市の連携を推進している観点で、連携を進化させて総合的な小中高一貫校を作ってはいかがか。</p>	—	教育総務課	<p>本市には小中併設校はございますが、小中高一貫校に関しては考えておりません。</p>
19	<p>将来を担う子供達、小中学生のために、姉妹都市や友好都市などの提携について、どのようなお考えか。</p>	<p>姉妹都市、友好都市について、双方が良好であり良い関係を構築できるのであれば考えてまいりたい。様々話はあるが、検討していきたい。現在では具体的にどこかと提携する等の予定はない。</p>	企画政策課	<p>姉妹都市や友好都市について、双方向の良好な関係を構築できるよう検討を重ねてまいります。</p>

⑩ 一本木地域まちづくり推進委員会

No.	内容 / 回答	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	以前はゴミの有料化を推進、現在はどのような方向性になっているのか。	私は、ゴミの減量化をお願いしたい。物を買えばゴミもついてくる。市民の皆様は処分に困っている。ゴミ集積所を使わない方法として、小売店に持って行く、資源回収を行うということを考えている。前市長が提唱していたゴミの有料化は厚労省が勧めている。有料化以前にゴミを減らす方法で考えており、内部としては有料化の議論はしていない。	環境課	現在は、平成31年3月に「滝沢市ごみ減量化行動計画」を策定し、ごみ減量化・資源化に取り組んでおります。市では、ごみ減量化・資源化を進めていくため、生ごみ減量等によるごみの発生抑制（リデュース）のほか、再使用（リユース）、スーパーでの店頭回収・小型家電回収・集団資源回収（リサイクル）等に取り組んでいただけるよう周知活動を継続してまいります。	
2	公共交通機関について、交流館行のバスなどを考えているということですが、盛岡行だけではなく滝沢市役所方面行きなど通学に便利な路線をお願いしたい。何年か前に同じ意見を述べた際はバス会社に言って欲しいということでした。その際は希望もとってもらえなかったの、市長の話にあったようにバス路線を拡充して欲しい。滝沢駅に行くバスも無いし、理想を言ってもらっても何も変わらない。市の力で何とかやってもらえないものか。	バス会社も企業であり、採算を考慮している。人の流れがあれば、バスを走らせる。バス会社も無理して走らせている。まずは、中心市街地と各地域の人の流れを作ることで、横の人の流れを作ることで、バスの路線ができるという考え方である。非常に難しい。人の流れが先か、バス運行が先か。横の人の流れ、斜めの人の流れ、これを作りたい。内部では福祉バスを増便するか、増便しないで路線を増やすかなど、様々検討している。	高齢者支援課 都市政策課	陸大学の送迎を主目的とした福祉バスの増便・路線増は現在のところ費用対効果の面から不可能と考えております。また、市全体での公共交通のあり方を検討しているため、その結果をふまえて福祉バスの見直しは必要であると考えています。バスの運行は、採算性が必要でありバス会社の経営判断に委ねられます。近年、バス会社の運転士不足も深刻となっており、新規路線の設定は難しいことが見込まれます。現在、既存路線の維持確保のため利用促進に取り組んでおります。	
3	滝沢市役所へ行くのに、朝に県北バスで盛岡駅に行き、そこから滝沢市役所へ行き、500円以上+300円以上かかって行った。その帰りは福祉バスに乗ろうとしたら15時まで待ち、一本木に着いたら16時だったが、200円で帰ってこれた。いずみ菓子や柳沢は福祉バスの停留所が結構あるが、自衛隊正門や墓地周辺には家が結構あるが、要望が無いから設置されないと聞いた。墓地の角のあたりにでも停留所を設置していただきたい。	高齢者対策としての福祉バスを形態を変えながら対応する。ドアt。ドアをタクシーを活用して、定期便や相乗りにするなど考えている。県大と研究しながら高齢者対策の一環として考えてまいりたい。	高齢者支援課 都市政策課	市全体での公共交通のあり方を検討しているため、その結果をふまえて福祉バスの見直しは必要であると考えています。一本木地区から滝沢市役所へ民間路線バス使って行くには乗継が生じます。盛岡駅で乗り継ぐ方法もありますが、時間と費用の面からバス停「上堂」で降車し、バス停「県営体育館前」で乗車する方法を推奨しております。	
4	岩泉町出身ですが、岩泉町では20人乗りのフリーバスがある。玄関前で手を上げれば乗ることができる。試験場から市役所まで約16キロ位ある。フリーバスを導入してはいいか。ふるさと交流館からは路線バスも利用できる。その他、岩泉町ではテレビ電話も全戸にあり無料である。	福祉バスの全体を変えずに対応できないか、併せてタクシーの定期便や相乗りなど岩泉町のフリーバスについても検討させていただきたい。	高齢者支援課	市全体での公共交通のあり方を検討しているため、その結果をふまえて福祉バスの見直しは必要であると考えています。	
5	いずみ菓子の下水道整備について、いつになったら公共下水道との接続になるのか、首を長くして待っている。同じように公共下水道整備を要望している5～7箇所あるようで、それらを総合的に検討して、改めて皆さんにお知らせするとのことであったが延び延びになってまだ届いていない。内部検討はいつまで行うのか。このニュータウンは、未販売区域がまだあり、売主の関係もあるので、公共下水道がどうなるのか、話が進まない。	下水道工事ということで、管を延ばすわけですが、その後に市民の皆様へ接続していただく必要があるため全員が接続いただければいいのですが、接続いただければ採算が合わなくなる。また、公共下水道ではなく、浄化槽のままで良いという世帯もある。地域の実情を考慮しなければならない。市内の7地区について内部で検討している。この検討結果について、近々管理組合にもご報告しようと思っております。実際の接続についてですが、公共下水道に接続するという事は、未販売区画の分も全部公共下水道に接続することになるので、開発者の同意を得る必要があるが、開発者は公共下水道への接続は希望しないと平成29年に回答いただいている。開発者との同意・協力を得られなければなかなか難しく、そこが1番の課題だと思われる。希望しない区画まで公共下水道に接続するわけにはいかないし、希望者のみ公共下水道を接続するわけにもいかない。内部検討結果については、近々お知らせできると思う。ただ、いつ繋ぐとかそのような結論はでないと思う。これから庁内様々な部署と検討していかねばならない。なかなか解決できるものではない。すぐすぐ答えは出せないと思う。	下水道課	現在、他の未整備地区も含めた費用対効果の算定について取りまとめをしており、9,10月頃にいずみ菓子ニュータウン管理組合を通じて公表し、今後の整備について協議をさせていただきたいと考えています。	
6	一本木小学校の体育館の屋根について、赤い屋根に見えるが、錆で赤くなって元々は薄い緑色であったはずである。錆で穴が空く前に塗装した方がお金がかからないのではないのか。	東部体育館の屋根は予算がついて実施することになっており、次は一本木小体育館屋根ということで課題意識を持って実施していくこととしたい。	教育総務課	必要性は十分認識しておりますが、同様の課題がある学校が複数校あるため、現時点で直ちに改修することは財政的に困難な状況ではありますが、課題としては認識しております。	

7	一本木バイパスについて、だいぶ前に着工しているが全然完成しない。八幡平とか他は終えている。	市としても県に要望している。県では地権者との問題で法的な手続き等を行っている状況である。今後の進捗について情報があり次第、会長さんを通じお知らせしたい。	道路課	事業認定の可能性など検討しているとのことですので、進捗については随時確認していききたいと思います。
8	自衛隊の官舎について、前市長のときにいつくるかわからないという話であったが、一本木小学校も中学校も児童生徒が減ってきており、官舎が建てば自衛官の家族も来て一本木の活性化に繋がるのではないかと。	数年前の防衛大綱において、駐屯地周辺に官舎を建てるということで防衛省で決定している。まずは、幹部の官舎、次に隊員の官舎ということで半径2km以内のところに官舎を建てるという方向性は決まっているが、具体的にいつ頃とかは決まっていない。用地とすれば正門付近の旧官舎のあたりなのか、北側なのか、まだ情報は入っていない。	企画政策課	防衛大綱において、駐屯地周辺に官舎を建設するという事で防衛省で決定されており、具体的に話が進むよう情報収集しながら引き続き要望してまいります。
9	農業高校の裏の歩道を作って欲しいと毎回言っているが、令和3年に着工して出来ると言われるが、ぜひそこをお願いしたい。物理的な安全策をお願いしたい。口先だけではなく、この歩道だけは何とかやってほしい。できるまで毎年市政懇談会に参加します。	計画にのっとり、優先順位をつけて対応していきたい。防衛事業で実施しているが、上の方から実施しており、33年と言いつれぬが、そろそろ事業実施となる予定である。	道路課	現在用地補償算定を進めています。来年度は用地買収を行い令和4年度完成を目標に進めております。
10	産業を元気にとあるが、農業は厳しい。担い手というが厳しい。林業も非常に厳しい。山づくりは50年かかる。優秀な若い子達は都会に行ってしまう。安定した仕事を求めてしまう。現状、職が無ければ住むことも定住も難しい。自衛隊がきてから60年以上経つが、やはり官舎をお願いしたい。市政懇談会といえば昔は素晴らしい、参加したいと思ったが、今は要望しても叶わないから参加しようと思わない。自治会の役員しか来ないのではないかと。ビッググループ滝沢が出来ても車が無ければ行けない。	コストと売値、コストの方が高いのではないかと。国の施策として取り組まなければならない。	農林課	将来の設計書と位置づけられている人・農地プランにより、地域農業を地域のの人たちと考えていきます。
11	高齢者の事故が多くなっているが、免許証の返納に関して、市としての特典等はないか。	高齢者の脚をどう守るか。福祉バスであるとか、タクシーであるとか、フリーバスなども含め、県立大学と検討しながら進めていきたい。交通事故の増加、事あるごとに注意喚起をしている。	防災防犯課	運転免許証の返納に関しては、高齢者をはじめとした免許証の返納ということと、返納後の交通手段の確保という観点から、非常に大きな社会問題でもあります。よって、公共交通や福祉バスなどの移動手段も含め、全体的な視点から様々な検討していきます。
12	自衛隊正門前の信号機について、点滅式になるということだが、どのようになっているか。バイパスが混むとこちらを走る車が増え、スピードを出している。現状の信号機をそのまま使うことでいいのではないかと。	何年か前にそのような話があり、警察側と地元側で意見が一致した箇所を無くすという流れがあったが、将来的に撤去は無いと思われる。	防災防犯課	警察署に確認したところ、自衛隊正門前の信号機について、昨年度警察署主催で住民説明会を行い、信号機の見直しについて検討したとのこと。その際、警察側と地元側で信号機撤去の意見が一致しなかったため、当面は現状のまま信号機を運用するとの回答でした。また、点滅式信号に変更する予定はないとのこと。

⑪ 大釜地域づくり推進会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	戦争に関する子ども達への教育について子供達に本当のことを伝える必要があるのではないか。日本が迷惑をかけたということ、現在では世界で子供達が活躍している。	歴史は歴史として、戦争はダメであるということを継承していかなければならない。事実は事実として伝えていかなければならない。教科書に日本が迷惑をかけたという記載は無い。学校の授業では、事実を伝え、社会科では正しい情報を教えている。世界に旅立つ子供たちに郷土や国を愛する機会としての教育を行っている。	学校教育指導課	社会科の授業を通して、戦争の事実を指導しています。平和、国際理解、寛容、生命尊重等については道徳の授業や復興教育を通して育んでいます。	
2	夜間パトロールをしているが、防犯灯のLED化、新設の予算もあるようであるが、現在の状況はどうなっているか。保守や修繕として、古くなっている市の木柱を計画的にコンクリート柱へ交換しなければ倒壊の恐れもある。木柱は結構まだある。LEDに交換されていないところもまだある。	LED化は明るさと電気料にも影響する。計画的に実施してまいりたい。	防災防犯課	防犯灯のLED化は市内全体で92.32%完了し、約440灯がLED化が未了の状態です。木柱からコンクリート柱への交換について、今後も継続して更新を行ってまいります。	
3	ゴミ処理の広域化について、前潟付近という話だが決定したか。道路の改善、渋滞も想定される。	まだ場所は決定していない。前潟地区の住民の方々と、秋田市の処理場を視察したようである。処理方法を視察し、これなら大丈夫と感じたようである。武蔵野市では、市役所の向かいにゴミ処理場がある。ゴミ処理場は迷惑施設ではない。	環境課	県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想に基づき、盛岡広域8市町のごみ焼却施設を1か所に集約し、令和11年度からごみ処理の広域化に取り組んでいくこととしています。 現在は、4か所のごみ焼却施設整備予定地のうち盛岡インターチェンジ付近を最も有力な候補地とし、地域の協議を優先して継続しているところです。	
4	東林寺近くの道路の拡幅工事をした後、工事してから水が出るようになってきている。水が潜れなくて溢れてくる。工事の時も話をしている。これでは二度手間になるのではないか。	当時の工事の状況を確認し、併せて現場も確認させていただきたい。追って回答する。	道路課	施工当時流水は確認できず、春先の雪解け水、田が始まる用水が流れると道路上を走る水が確認されました。改良区管理の素掘り側溝から水が漏れて湧いているものと思われるため、それに対する対策工事を予定しています。	
5	6月3日夜に高森地内で死亡事故が発生した。6月6日に警察と市と現場を確認・点検をし、街灯を要望したり、防犯灯の申請等も行っている。道路課で街路灯はお金がかかるということであった。東北電力に確認したところ、東北電力の柱があるので電力柱に添架すれば経費は抑えられるということであった。東北電力の柱に添架すれば経費がかからない。	交通事故については、注意喚起が非常に重要である。痛ましい事故が起きたことで、交通安全対策を図る必要がある。 警察と市では、交通安全対策として地域と共に点検を行い、当該場所が暗いと判断したことから、9月補正予算を計上し、速やかに現地に街路灯という道路照明を建てる計画である。防犯灯は照度が無いので、街路灯の設置により原因に対処する。東北電力の件は、街路灯は添架できない。 東北電力柱へは防犯灯のことであるが、東北電力に確認する。	道路課	今年度照明灯の設置工事を行います。業者との設置個所の詳しい打ち合わせが終わり次第着工の予定です。	
6	高森線では、冬に事故が多発する。単独事故も多々ある。融雪剤を巻くが対応しきれない。	勾配もあり、優先的に融雪剤をまく路線である。周辺の木伐採も含め、対応を検討している。この道路に関して舗装修繕を行う。急カーブであるため、注意喚起の表示等対応したい。	道路課	今年度舗装修繕工事を行います。坂の下り車線にはグルーピング工という溝を付けて路面の凍結等を抑える工法の検討をしています。	
7	水道の民営化をしている自治体もあるようであるが、滝沢市はどのように考えているのか。	水道の民営化について、当市はとても美味しい水を作り、半永久的に市民の皆様にお届けしている。安全で美味しい水をお届けするにあたり、敷設した管を定期的に更新するなどの必要が出てくる。民営化する予定は無い。	水道総務課	水道は、市民の日常生活における重要なライフラインであり、滝沢市水道ビジョンに基づき、安全な水道水を持続して供給できる健全な水道事業の経営を目指しています。 なお、民営化する予定はありません。	
8	下水道工事を行っている地域もあるが、大釜に関しては公共下水道は予定があるのか。	下水道がいいのか、合併処理浄化槽がいいのか、無理に管を通して高上りにするよりは合併浄化槽にする方がいいのか考えている。 公共下水、集落排水、市としては合併浄化槽を薦めている。補助金もありますので、詳しくはホームページにもありますし、下水道課に個別に相談いただければと思う。会長通じて情報提供したい。	下水道課	大釜地域づくり推進会の区域である大釜南自治会、大釜上自治会内における下水道の計画区域については、ほぼ整備済みとなっているため、現在下水道が入っていない箇所については、工事の計画がない可能性が高いと思われますが、具体的な場所を教えていただければ詳細をご説明できますので、ご連絡いただければと思います。	

9	市民から惜しまれて閉館したお山の湯について、現在はどういう状況であるか。	お山の湯については、商工会の若手の方々が活用について様々研究している。 お山の湯の利活用については、一度民間へ利活用を公募したがどこからも提案が無く、そして商工会の若い青年部の皆さんに、建物はあ るし、自然環境を活用したり、物を作ったり、物を買ったり、姥屋敷 地域の皆さんと活動できればと計画を立ててもらっている。ただ、残 念ながらお湯の復活にはならない。廃止した理由として、鞍掛山の麓 のかなり深いところからお湯を汲んでおり、ポンプが何回も壊れ止む 無く閉館したわけですが、数千万単位で修繕費がかかるということ で、湯の復活にはならないが、自然環境を活用しながら憩いの場にな るような詳細計画をいただくところである。	観光物産課 財務課	財務課が事務局となり、プロジェクト チームを組成して活用方法について検討 中です。 市といたしましては、費用をかけず に、また、広く施設利用の可能性につ いて模索しており、民間活力による施設の 利活用について期待しているところ です。 現在、利活用に前向きな民間事業者に おいて、自然などを活かした事業展開に ついて検討が行われているところであ り、市といたしましても連携しながら、 当施設の利活用、地域の活性化に繋がる よう進めていきたいと考えています。	
10	健康診断受診率向上にむけて、盛岡の病院を受診できる環境は整えられるか。主治医が 盛岡市内の病院という方が結構いる。	健康診断の状況として、県平均を上回っている。低いのは働き盛り の40～50代となっている。国保ということで農業者の受診率が低 いのではないかと考えている。農協等を通じてお知らせしたり、個人 で病院に行くわけだが、逆にお医者さんに1箇所に来てもらって受診 するなど、様々考えて実行し、受診率向上へ繋げていきたい。 受診率の向上ということで、健康寿命の延伸はまさに受診率向上が 大事であると認識している。病院と委託契約を行って受診いただいで おり、なかなか盛岡の方ということは難しいかもしれませんが、今 後受診率向上になるよう検討していきたい。	健康推進課 保険年金課	特定健診や長寿健診については、国の 方針により、地元医師会である岩手西北 医師会と強い協力関係を築き、これまで 事業を推進して参りました。 今後も特定健診や長寿健診に限らず、 糖尿病重症化予防などの保健事業全般に おいて、岩手西北医師会とともに連携強 化を図り、取り組んでいくこととしてお ります。 以上のことから、現在のところ岩手西 北医師会以外（この場合、盛岡市医師 会）の医療機関での特定健診や長寿健診 の実施は考えておりません。 主治医が盛岡市の医療機関の方におか れましては、申し訳ありませんが、岩手 西北医師会の医療機関において、特定健 診を受診されるようお願いいたします。	
11	平成9年頃に、中心拠点構想があったが非常に難しいと断念した経緯がある。その後、 ビッグループを中心とした中心拠点構想の中で、農地転用や農振などあるが、任期中に解 決できるのか。交通アクセスの件などどういった状況か。	中心市街地については民間の力を借りていきたい。お山の湯もそう であるが、市役所はプロではないので相応しい人をお願いしたい。農 地転用等許可の関係で非常に大変であるが、なんとか任期中に着手し たい。 中心市街地について、ようやくビッグループができ、NTとビッグ ループの間を計画している。規制として農地転用の問題、線引きの問 題の2つがある。農振地域を外してもらわなければならない。今現 在、盛岡広域での都市計画においてそのテーブルにはのったというこ とで、そして農政局と事前協議をしている状況である。許可がおりれ ば都市計画の審議会にかけて線引きが決まるということで、何とか市 長任期中にと目指している。また、道路の話がありましたが、市立高 校から環状線に抜ける砂利道があるが、そこを整備しないと計画が進 まないということで、市としては交付金を活用して設計している。来 年度は用地交渉をして、繋げる格好で道路の方は着実に進めていき たい。そして、許可がおりたところで完成ということを目指してい きたい。	道路課 農業委員会事務局 農林課 都市政策課	幹線道路としての機能と良好な市街地 形成が促進されるよう、今年度県道盛岡 環状線から県道盛岡滝沢線年毛交差点ま での市道向新田線800mについて道路 詳細設計を行っています。 ビッグループ周辺の農地の大半は農業 振興地域であるとともに、都市計画区域 （市街化調整区域）となっております。 農業委員会では、農地を農地以外のもの に転用する場合、農地法の許可基準及び 他法令法との整合性に基づき、農地転用 許可権者である市長または国に意見書を 提出します。また、市街化区域内での農 地転用は許可申請ではなく届出となりま す。（上の山自治会 No.3と関連しま す。） 農地転用や農振については、法律に のっとった運用をしていくことになりま す。 第1次滝沢市総合計画において、滝沢 市役所周辺を対象に、「都市の中心を担 う拠点の形成」を目指す構想が位置付け られており、民間開発による機能整備を 目指し、民間事業者と調整を図りなが ら、市街化区域編入の事務を進めており ます。現在は、県都市計画課と東北農政 局において事前相談というかたちで協議 を進めております。	
12	勤労者体育センターに避難所という立派な看板があるが、センターにはどのような備蓄 があるのか。看板だけの設置なのか。	市内に30数か所の避難所を設置していて、各地域の皆さんが災害 時に避難いただくのですが、備蓄するためには場所が必要であり、総 合公園体育館など市で備蓄しているものを避難所が開設された後に、 直ちに市役所職員が搬入するという形で機能を持たせている。火山災 害であれば、盛岡市みたけの武道館も臨時避難所として去年協定を結 んでいる。今後さらに災害時における避難所を検討しなければならない。 最低限必要なものは、各地域の自主防災組織でも持っているのも あると思いますので、連携しながらやっていきたい。	防災防犯課	市庁舎及び総合公園体育館に避難所対 応の備蓄をしており、開設した避難所 に対して、避難所対応職員等が搬入す ることとしております。また、備蓄品と しましては、毛布、アルファ化米及び水 などを備蓄しております。	

13	<p>お山の湯の奥に狼穴（おいのあな）ということがあり、観光のためにと刈り払いしたことがあった。当時、そんなことやって何の意味があるという職員がいた。熊が出るところに誰が来るのかと言われたことがあった。また、滝沢の由来である滝の沢は非常に良い沢である。由来の沢を開発するなど観光として活用できないものか考えを伺いたい。</p>	<p>ご提言をいただいた内容について、現地を見て、前向きに検討していきたいと思う。</p> <p>観光は、お金を投じたからすぐ回収できるものではなく、5年、10年あるいは100年で投資した分が返ってくるわけで、お山の湯の近くに熊が出るのは当たり前であって、注意喚起・熊対策をしながら、ご提言を検証させていただき、観光に投資したら最後には戻ってきて、誰かが商売を始めるなど、そういった仕組みづくりも併せて検討していきたい。</p>	観光物産課	-	
----	---	--	-------	---	--